

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人みんなの夢をかなえる会

当法人は、平成 26 年 3 月 14 日から公益財団法人として活動をしており、5 期目にあたる当期は、夢の 7 原則及びソーシャル・ミッションの実現の為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

夢の 7 原則

- 一、「どうしても叶えたい」夢を持つ
- 一、「夢に日付けを」入れる
- 一、勉強し、計画化する
- 一、カラーでイメージする
- 一、あきらめない
- 一、運を味方にする
- 一、夢を追うプロセスの中で、成長する

ソーシャル・ミッション

あなたの夢をみんなの夢に…ソーシャルドリーマー（社会課題を解決する夢で起業している・起業を志している人）を「発掘」し、「育成」「発表」「支援」を『伴走者』として活動する。「みんなの夢」を 1 社でも多く実現する。

発掘プログラム

みんなの夢シンポジウム	200 名参加(2 回)
みんなの夢セミナー	200 名参加(5 回)
未来の名刺教室	269 名(3 回)

育成プログラム

Social Management College	集中講座 120 名参加(4 回) ステップ講座 82 名参加(2 回) 出張講座 468 名(23 回) 個別契約 1 名
ファイナリスト向けセミナー	7 名(3 回) 個別指導
地方版ファイナリスト	7 名(3 回) 個別指導

発表プログラム

みんなの夢 AWARD8	2,200 名参加
みんなの夢 AWARDin 陸前高田	300 名参加

サポートプログラム

起業 1社

I. 普及啓発事業（公益事業1）

（1） みんなの夢AWARD8 の開催

「みんなの夢 AWARD」は、社会の課題を解決し、みんなをワクワクさせ、みんなが夢をもちたくなるすてきな夢に贈られるアワードである。みんなの夢 AWARD のプレゼンターはサポート企業からのサポートを得ることができる仕組みとなっている。テーマは「あなたの夢がみんなの夢になる。みんなの夢とは社会の夢」であり、社会課題を解決する事業に挑戦する社会起業家等を応援することを目的としている。

【みんなの夢 AWARD について】

共 感：みんなをワクワクさせるものか

社会性：世の中をよくする内容か

具体性・計画性：夢を具体的に描き、計画的に前進しているか

【概要】

開催日：平成 29 年 2 月 26 日（月）

開催場所：舞浜アンフィシアター

エントリー者：525 名

サポート企業：40 社

集客：延べ 2,200 名（内学生 1,200 名）

■選考スケジュール

1. エントリー 平成 29 年 9 月 1 日～9 月 30 日

専用フォームからエントリーを受付けました。

2. 一次選考（書類審査）平成 29 年 10 月 4 日（結果発表:10 月 11 日）

選考人数 50 名

投稿された内容を元に、事務局により一次選考通過者を決定。サイトにて発表しました。

3. 二次選考（面接審査）平成 29 年 10 月 21 日（結果発表 10 月 29 日）

選考人数:23 名

一次選考通過者による面談を実施。二次選考委員により二次選考通過者が決定。

4. 三次選考（プレゼンテーション） 平成 29 年 11 月 18 日

（結果発表 11 月 24 日）

選考人数:7 名

三次選考では、二次選考通過者による 7 分間のプレゼンを実施。三次選考委員によりファイナリストを決定し、サイトにて発表しました。

5. 2018年12月2日(土)～3日(日)ファイナリストの合宿

場所 オリピックセンター
講師 長倉理事、中川専務理事

6. 平成29年1月13日(土)

場所 ワタミ(株)
講師 長倉理事、中川専務理事

7. 平成28年2月25日 リハーサル

場所 ワタミ(株)
講師 長倉理事、中川専務理事

8. 最終選考@舞浜アンフィシアター 平成29年2月26日(月)

最終選考では、3次選考を通過したファイナリストによるプレゼンを実施。最終審査委員と来場者の投票により受賞者を決定しました。

■賞について

みんなの夢となる『みんなの夢AWARD8 グランプリ』

舞浜アンフィシアターで開催された2月26日(月)の最終選考会においては、全ファイナリストの発表後にオーディエンスと審査員の投票により、「みんなの夢AWARD7」グランプリを決定した。みんなの夢AWARD8グランプリには「『できないこと』ではなく『できること』にフォーカスできる職場を増やす」という夢を語った尾中友哉(おなかともや)さんが選ばれました。

(2) みんなの夢AWARD8学生事務局運営

4月 みんなの夢AWARD8学生事務局リクルーティングがスタート
関西を中心に各支部を設立。合同新歓、各支部新歓MTG、説明会を開催

10月2日 TBホール(大阪)

みんなの夢学生AWARD 150名

夢御プレゼン大会、企業ブース、お笑いバトル、交流会

■2月26日 みんなの夢AWARD8の運営 学生事務局は500名を集めた
学生事務局は7時に舞浜アンフィシアターに集合し、キービジュアルの入ったスタッフジャンパーを着て、搬入作業から取りかかった。午前中は設営やパンフレットの仕分けを行ない、午後の開場に向けての準備を進めた。この日は全国からメンバーが集結し、約40名で運営を行なった。

企業ブースでは、企業クイズを実施し、企業と学生との交流を深める事ができた。また、地域おこし協力隊募集など自治体ブースを設置。夢を書き込むなど、特別企画も実施し、開演前から盛り上がった。

みんなの夢AWARD8では、学生事務局のプロデュースによる、オープニングアクト、踊り侍・心酔(よさこい)や大学生チアリーダーなどの参加で、大いににぎわった。

(3) みんなの夢コーディネーター制度（夢実現のための支援事業）

サポート企業とファイナリストとの支援を円滑に進める為、当団体が仲介し、コーディネートをしている。みんなの夢 AWARD7 のファイナリストに支援を申し出た企業はそれぞれ下記の通り。

■ 1組目：岩井 友美さん / 観光事業展開のハブ

「観光を通じて、日本代表を増やす。」

応援企業：一家ダイニングプロジェクト、エイチ・アイ・エス、エイト、グロウ・ムービージャパン、サントリー、神明、野村證券、ピーアーク

■ 2組目：木村 淳史さん / 伝統工芸を産業に戻す！伝統工芸の復活請負人

「伊勢型紙の産地、三重県白子を世界中のクリエイターが集うまちにする。」

応援企業：アサヒ、グリットグループホールディングス、グロウ・ムービージャパン、サントリー、ワタミ

■ 3組目：尾中 友哉さん / 音のない世界とある世界の架け橋役【グランプリ】

「『できないこと』ではなく『できること』にフォーカスできる職場を増やす。」

応援企業：アサヒ、一家ダイニングプロジェクト、SFP ホールディングス、エイト、面白法人カヤック、グロウ・ムービージャパン、昭和リース、マザーフーズ、ヤマサ醤油、LIFULL

■ 4組目：八木 大介さん / 命をつなぐ飲食店協会長

「全国に広がる貧困家庭やシングルマザーの家庭を応援する『命をつなぐ飲食店協会』の拠点在全国に作る。」

応援企業：アサヒ、一家ダイニングプロジェクト、面白法人カヤック、グリットグループホールディングス、グロウ・ムービージャパン、サントリー、ジュピターテレコム、パーソルキャリア、ピーアーク、福島工業、ヤマサ醤油、ワタミ

■ 5組目：松原 淑美さん / 漁村再生釣りガール

「釣りを通し魚への興味をもって貰うために釣りガールを増やし、全国の漁業と漁村地区の活性化へと繋げていく！」

応援企業：一家ダイニングプロジェクト、SFP ホールディングス、オタフクソース、グリットグループホールディングス、グロウ・ムービージャパン、三井食品、Mizkan、ヤマサ醤油、ワタミ

■ 6組目：竹本 勝紀さん / 地域を元気にする鉄道マイスター

「副業から複業、そして“福業”へ！働き方改革を推進することで地域（田舎）を元気にしたい！」

応援企業：一家ダイニングプロジェクト、エイチ・アイ・エス、SFP ホールディングス、面白法人カヤック、グロウ・ムービージャパン、三陽物産、ヤマサ醤油、ワタミ

■ 7組目：くわばら ゆうきさん / KUMIKI PROJECT 代表

「『ともにつくるを楽しむ人』を日本中にふやしたい。」

応援企業：アサヒ、SFP ホールディングス、石坂産業、エイト、面白法人カヤック、グロウ・ムービージャパン、ピーアーク、福島工業、LIFULL、ワタミ

みんなの夢 AWARDiN 陸前高田について

開催日：平成30年3月17日（土）

開催場所：陸前高田市コミュニケーションホール

サポート企業：8社

集客：300名（内学生150名）

陸前高田の子供達の未来をつくる夢が集う。

～復興支援から復興ビジネスへ～

陸前高田の夢をビジネスとして起業や新規事業を考案したプレゼンターが、陸前高田の皆様の前で語ります。各専門家を講師に迎えたセミナーを重ね、一次審査より選出された7名が発表しました。

これらの事業プランをサポート企業が応援表明をしていきます。そして、この7名からグランプリが決定します。グランプリは、ソーシャルビジネスであれば最大500万円の出資交渉権も与えられます。グランプリは、審査員のほか、参加する観覧者の皆様の一票で決定します。夢プレゼンのほか、様々なプログラムを実施しました。グランプリにはロッツ株式会社代表の富山泰庸さんが選ばれました。富山さんは、日本全国に展開できる気仙地域発祥のビジネスを作り上げ、“復興請負人”になりたい。この陸前高田を含めた気仙地域を健康な人達で埋め尽くすということという夢を語りました。薬局、訪問リハビリステーション、玉乃湯、リハビリ特化型デイサービス&フィットネスリボーンを運営し、陸前高田を含めた気仙地域を健康な人達で埋め尽くすという熱い思いが伝わるプレゼンをされました。

合同会社ぶらり気仙代表

鍛治川 直広（小友町）

広田湾の海産物をはじめとする地域資源の価値をさらに高める“地域活性ビジネス”を作り上げたい

矢作町／村上製材所専務

村上 英将（矢作町）

新たな木材需要を掘り起こし、我が子に託せる山をつくり、晴れて“村上製材所代表”と呼ばれたい

米崎町大和田牡蠣養殖所代表

大和田 信行（米崎町）

牡蠣養殖革命による近代化と、イタボ牡蠣の養殖を実現させ“牡蠣養殖の革命家”になりたい

特定非営利活動法人りくカフェ理事

及川 恵里子（高田町）

陸前高田市から全国へ、健康活動の輪を広げる“市民健康応援団”になりたい

株式会社企画制作代表

昆野 玲（東京都）

壁を、困難をのりこえ、人の集まるはまかだタウンを作り、“企画実現プロデューサー”と呼ばれたい

■みんなの夢 AWARD8ファイナリストのマッチング実績
みんなの夢メンター制度（夢の実現のための支援事業）

当法人は、みんなの夢AWARD終了後、ファイナリストの夢が実現するための支援も行う。定期的にファイナリストと連絡を取り、サポート企業とのコーディネートやファイナリストへのアドバイス等を行い、夢の実現に向けてファイナリストに伴走している。

前述した、みんなの夢 AWARD8ファイナリストへの支援企業とのコーディネートを実施している。なお、過去のファイナリストの企業マッチングも継続して実施している。

（４）みんなの夢メンター制度

渡邊理事長と個別懇談会

- ・ 大津たまみ（みんなの夢 AWARD6 グランプリ）
- ・ 藤岡慎二（みんなの夢 AWARD5ファイナリスト）
- ・ 教来石小織（みんなの夢 AWARD5グランプリ）

中川専務理事とのメンター実施

- ・ 山本亮（みんなの夢 AWARD7ファイナリスト）
- ・ 麻植有希子（みんなの夢 AWARD7ファイナリスト）
- ・ 宮本幸子（みんなの夢 AWARD7ファイナリスト）
- ・ 大津たまみ（みんなの夢 AWARD6ファイナリスト）
- ・ 小幡 和輝（みんなの夢 AWARD6ファイナリスト）
- ・ 温井和歌奈（みんなの夢 AWARD5ファイナリスト）
- ・ 吉藤健太郎（みんなの夢 AWARD4）
- ・ 勝浦 雄一（みんなの夢 AWARD4）
- ・ 山内 一成（みんなの夢 AWARD3「生き生き」プロデューサー）

（５）みんなの夢シンポジウムの開催 2回開催 200名参加

「みんなの夢」と「社会の課題解決・社会貢献」を考える「みんなの夢シンポジウム」を、全国で開催する。会場では、参加者と夢の大切さと、夢を実現していくための方法

を共有し、社会課題への気づきと新たな夢への挑戦者の発掘を行っていく。

第1回 みんなの夢シンポジウム

日時：

第2回 みんなの夢シンポジウム

II. 支援・能力開発事業（公益事業 2）

（2） 未来の名刺講座(636 名参加)

主に非営利団体や教育機関と連携し、主に小学生を対象に、無料で未来の名刺出張講座を行う。小学生の夢＝将来したい職業を聞いて、未来の名刺に、自分の職業、役職を書いてもらう。その為には、中学、高校で何を学ぶ必要があるかを計画することが重要であることを知ってもらう。また独自の活動として、当期においては養護施設の生徒にも、未来の名刺教室を開催した。

① 2月19日（月）

- ・対象：杉並区立荻窪小学校6年生 115名 2講座並行実施

② 2月27日（月）

- ・対象：新宿区立落合第三小学校6年生 63名 1講座実施

③ 3月10日（土）

- ・対象：杉並区立新泉和泉小学校4年生 91名 2講座並行実施

※2分の1成人式の一環としての講座でした。保護者の方もご覧になりました。

<内容>

- ・導入部では、自己紹介・会社紹介と、ゲームを交えたアイスブレイクのあと、講師よりイチローの話などをふまえて話をしました。夢をかなえることに本気になること、夢をかなえるための方法を学ぶことを、一日のテーマとしました。
- ・最初の個人ワークでは生徒の好きなこと・興味があることをワークシートに書き出してもらい、そこから派生して将来の夢を描いてもらいました。またその夢をかなえたとき、周りの人や社会にどのような良い影響を与えられるかなどについても考えてもらいました。
- ・次に、その夢を叶えるためにこれから何を学んだり努力しなければならないかを考えてもらい、実際に何をすれば夢に近づけるかを明確にしてもらいました。
- ・最後は生徒各々未来の名刺を作り、友達同士で交換し、お互いの夢を励まし合いました。
- ・後日子どもたちからお礼状をいただきました。夢について考えることの大切さや、今後夢をかなえるための決意などがしたためられていました。

（3） Social Management College

当校は、若者・女性・地方での挑戦者を対象に、ソーシャルマネジメント育成プログラム・起業や経営への資金支援・大企業や行政、政治家などの紹介を通じて「夢をシ

ゴトとして描ける」「社会課題をイノベーションとビジネスを通じて解決できる」「社会を経営する」人材育成を実現する教育機関です。今までにも、このような教育機関や教育プログラムはありましたが、在学期間内での起業を必須する実践的な点、優れたビジネスモデルには資金支援（最大 2000 万円）を実施する点、受講生と他の起業家大企業や行政（省庁・地方自治体）、政治家などとのコネクションからコミュニティ構築をする点が差別化として挙げられます。

当団体では、これまで夢をシゴトに、みんなの夢となる、そんな夢を持った人材の発掘、育成、発表、事業支援として、国内最大のソーシャル・イベント「みんなの夢AWARD」を 2010 年度より開催してきました。こうした実績の積み重ねの上で、「育成部門」の教育事業を強化し、「ソーシャルインパクト」を社会に提供していきたいと考

えております。

「若者」「女性」「地域」の起業研修プログラム

今後のわが国の経済活性化を考えたとき、若者が夢を持ち、活力を持てる環境を作ること、起業家などの挑戦者は財産です。彼ら彼女らが、さまざまな事業機会において挑戦ができる環境整備が重要です。また、全ての女性が子育てや結婚と、自分の夢を追い、社会の中で活躍することができる環境を積環境整備も重要です。ワークライフバランスは社会の発展には必要不可欠だと私たちは信じています。

このような挑戦が、地域活性化、少子化、高齢化、まちづくり、途上国支援などの何らかの社会の課題解決につながります。更に、経済活性化が両立した持続可能な社会を作り出せると考えます。ロマン（挑戦や社会課題の解決）とソロバン（経済的自立・経済活性化）の両立は目指すべき姿です。そこで「これからの社会、これからの若者や女性を応援する」ために、額に汗をかき、みんなが応援したくなる「人材」育成、社会の課題を解決することにチャレンジできる事業を起業する教育事業を目指します。

挑戦者がさまざまな事業環境において挑戦できる環境を作る - 社会起業家等の育成

今後、少子化、高齢化が進展するなどの社会環境の変化の中で、わが国の経済の活性化、地方創生には、起業家やイノベーター・チェンジメーカー等の育成と支援が重要であるという問題意識を持っています。新しいチャレンジが新しい事業機会となり、ビジネスとなり、そして社会にイノベーションを起こし、マクロ的にも大きな成長機会となります。多くの起業家たちは、これまでも自分の「夢」と目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジをしてきました。特に、少子化、高齢化、地域活性化、貧困問題など、現代社会における様々な社会の課題を解決するような「夢」とそのチャレンジをする社会起業家を育成し、応援することで、「経済活性化」と「社会の課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことができます。

女性が夢を追うことと子育て・結婚を両立する環境整備も

全ての女性が自分の夢を追い、活躍する環境（子育て、ワークライフバランス、シングルマザー、貧困へのケア）を作ること重要で、現在、多くの女性起業家がソーシャル・ビジネスに挑戦をしています。もちろん、起業家だけではなく、全ての女性が自分の夢を追い、社会で活躍することができる環境作り、またそのための教育機会の提供を行っていくことは、果たしていかなければならない社会的責務であると考えます。ソーシャルビジネスの提唱者でもあります「ムハメド・ユヌス博士」もグラミン銀行の活動を通じた女性の自立支援を通じて、バングラディッシュの貧困問題に取り組んできました。

こうした取り組みを、わが国の中でも進めていくことが重要です。

例えば、働く女性の子育て支援は、保育所や学童での待機児童問題等で、政策的にも早急に対応をしていかなければならない課題です。また、子どもの貧困問題も、わが国は先進国の中では高い貧困率となっており、そのケアも考えていく必要があります。このような社会の課題に挑戦する起業家を支援していくとともに、全ての女性が夢をかなえることができる社会を創ることがわが国の持続可能性を生み出していくと考えております。

まさに、女性の視点でイノベーションを起していくことも、わが国経済の「再生」につながっていくと言っても過言ではないのではないのでしょうか。イノベーションは地方の辺境（フロンティア）から生まれる

さらに、首都圏一極集中による経済の疲弊、個人のライフワークバランスの多様化から、新たに「地方」が、みんなの夢、ソーシャル・ビジネスとしての事業、生活も着眼しています。従来の地域マーケットから、現在はインバウンドなど外国人観光客の増加、海外事業展開など、地域にいけるグローバル化も著しい。まさに、ビジネスチャンスととらえ、地域で商売、起業、さらに地方でマーケティング、語学が活かせるシゴトの創造もあるのではないかと思います。これら、当教育機関と地方・地域を結びつけて教育プログラムも構築していきたいと考えております。

そして、夢をシゴトにする為に、また、夢実現にかかせない「仕事」「家庭・友達」「趣味」「健康」「財産」「教養」の6本のカディコリーのライフワークバランスが重要であり、これらは、実際、「Date your dream.手帳」を活用し、実践していきます

●第2回 オープン講座（ソーシャルマネジメント夢実現プログラム編）

日時

会場

対象

基調講演 -

公益財団法人みんなの夢をかなえる会 代表理事 渡邊美樹

集中講座（ソーシャルデザイン・アントレプレナー養成講座）

2016年10月30日(日)、11月27日(日)、12月18日(日)、1月15日(日)、2月4日(土)

場所 クリックネット

集中講座内容

①価値観の言語化

- ②問題発見・解決能力
- ③経営戦略・組織戦略
- ④社会起業家 3.0 を実現するソーシャルビジネスモデル
- ⑤2月20日に向けたプレゼン準備

その他

会費について

当法人の活動の主旨に賛同していただいた方に、みんなの夢をかなえる会のサポーター（会員）になっていただき、下記の区分により会費を頂く。

会費（年額）：— 6,000 千円

会費（年額）：— 120,000

円

円会費（年額）：— 1,800 円

以上